2026年10月14日

各　　位

会 社 名　デリカフーズホールディングス株式会社
代表者名　代表取締役社長　　大　崎　　善　保
（コード番号　３３９２　東証スタンダード）
問合せ先　取締役　ＣＦＯ　　仲　山　　紺　之
（ TEL.　０３－３８５８－１０３７　）

2027年３月期第２四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年５月13日に公表しました2027年３月期第２四半期累計期間と通期の業績予想について修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（累計）連結業績予想の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株あたり中間純利益
前回発表予想（Ａ）（2026年５月13日発表）	32,000	1,000	1,050	750	46.17円
今回修正予想（Ｂ）	31,000	600	605	445	27.39円
増減額（Ｂ－Ａ）	▲1,000	▲400	▲445	▲305	
増減率（％）	▲3.1％	▲40.0％	▲42.4％	▲40.7％	
（ご参考）前期実績（2026年３月期第２四半期）	30,810	1,228	1,258	842	51.93円

２．2027年３月期通期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株あたり当期純利益
前回発表予想（Ａ）（2026年５月13日発表）	67,000	2,400	2,550	1,750	107.73円
今回修正予想（Ｂ）	63,500	1,800	1,850	1,300	80.02円
増減額（Ｂ－Ａ）	▲3,500	▲600	▲700	▲450	
増減率（％）	▲5.2％	▲25.0％	▲27.5％	▲25.7％	
（ご参考）前期実績（2026年３月期通期）	62,219	2,109	2,172	1,515	93.38円

３．修正の理由

2027 年 3 月期第２四半期累計期間の売上高につきましては、主力の外食産業向けにおいて客数が伸び悩むなか、取引採算を踏まえた取引条件について丁寧にご説明しつつ、新たなお客様ニーズに対応するための積極的な提案を進めたものの、伸び率は前期比鈍化し、業績予想をやや下回る水準での着地となる見込みです。

損益面では、長引く天候不順（台風、長雨等）や地震等の影響で各種野菜の生育不良・品質不良が発生し、価格が高騰したため、売上総利益率が想定以上に大きく下振れました。また販管費においても、正社員・パート従業員の処遇見直し、物流部門の拠点新設（東海マザーセンター、三郷サプライセンター）に伴う経費増が先行的に発生いたしました。また、中東情勢の影響による物流費、燃料費、資材費などの高騰も利益の圧迫要因となりました。以上から、営業利益、経常利益、親会社に帰属する中間純利益のいずれも上期の業績予想を大きく下回りました。

上記の見通しを踏まえ、下期では、本部集中仕入制度の対象品目拡大、入荷時検品体制の定着および現場オペレーションの効率化を一層徹底いたします。また、お客さまへの丁寧な説明を実施した上での売価改善も努めるほか、３ＰＬ事業やサプライ事業（野菜外の食材や各種資材の取扱い）への新規参入を本格的に開始し、積極的な成長投資等を通じお客様に提供する価値創造の領域を広げることで業績向上に努めてまいります。

通期業績予想につきましても、売上高の伸び率鈍化基調に加え、上期から継続する野菜価格高騰の影響、将来に向けた新たな成長戦略投資の先行的な発生などが見込まれることを踏まえ、今般、下方修正することといたします。

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しでありますので、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上